



公益財団法人 宮城厚生協会

# 坂総合病院

## NEWS

2015.11  
No.1

発行責任者：坂総合病院院長 内藤 孝

### Contents

- 「坂総合病院ニュース」発行にあたって 1
- 2015年度
- 第1回地域医療支援委員会 開催 2
- 当院のがん治療のためのカンファレンス 3
- 第37回みやぎ東部健康福祉友の会健康まつり 4-6
- 職員研修会「コミュニケーション学習会」 6
- 神経筋エコーのオープンセミナーを開催して 7
- インフォメーションほか 8

### ◆「坂総合病院NEWS」発行にあたって 坂病院をより広く深く 知っていただくために

坂総合病院院長 内藤 孝



坂総合病院は昨年設立100周年を迎え、またこの度「地域医療再生基金」などからの補助を受けて「救急・医療連携・教育ステーション」を開設することができました。

#### 積極的に救急・急性期医療に取り組みます

昨年は約3000台の救急車を受け入れましたが、ベッドがないなどの理由でお断りしている状況にあります。増築により救急外来に隣接して12床の救急病棟を設置できましたので、これまで以上に救急患者を受け入れたいと考えています。また心臓カテーテル装置も1台増設し、一刻を争う心疾患にさらに迅速な対応ができるようになりました。いざという時の安心のため、これからも積極的に救急・急性期医療に取り組んでいく所存です。

#### しっかりした医療・介護のネットワークを作ります

今年度は「臨床研修指定病院」として11名の初期研修医

を受け入れました。当院では長年総合力のある医師養成を目指してきました。新設された教育ステーションに「みちのく総合診療医学センター」を置いて、今後必要性が高まる総合診療医の育成を進めます。また「地域医療連携センター」を設けしっかりと医療・介護のネットワークを作っていきたく考えています。

#### 親しみのある紙面にしています

新たな施設を最大限活用して地域の皆様から頼りにされる、地域社会に貢献できる病院を目指してまいります。そのためにも病院のことをより広く深く知っていただきたいと考え従来の「病院だより」と「連携室だより」をまとめて「坂総合病院NEWS」として発行することにいたしました。親しみのある紙面にしていきますのでぜひご愛読ください。今後ともよろしく願っています。



期待の救急病棟



広々としたリハビリテーション室

## 2015年度 第1回地域医療支援委員会 開催

### 救急関係・医療連携など について大いに意見交換

地域医療連携室課長  
**渡部 静香**



救急病棟を見学

10月7日（水）坂総合病院にて、「2015年度第1回地域医療支援委員会」が開催されました。司会の松田好郎地域医療連携室室長より開会宣言があり、救急病棟及び教育棟完成の紹介報告がされました。

その後、小幡篤副院長の案内で、心臓カテーテル室、救急病棟、リハビリ室を中心に見学し説明されました。

内藤孝院長があいさつし、救急車受け入れ強化のため10月から準夜2名医師体制とすることを報告しました。そして、『今後、坂病院は、急性期病院として、さらにその役割を果たせるよう、外来の落ち着いた患者様を開業医の先生方にご紹介させていただくなど、更なる連携強化を図っていく所存です。』と述べました。

紹介に関する業務報告のあと、救急関係・医療連携に関する意見交換が行なわれました。

塩釜医師会理事の菌部先生から『新しい施設を見学させてもらい、地域の開業医として心強いかぎり期待しています。』とお話いただきました。また、塩釜消防本部の鈴木委員から『管内の救急件数は増加している。昨年比で増加している分は、坂病院・塩釜市立病院で受け入れてもらっている。』とご報告がありました。今回より当委員会の委員を引き受けていただいた塩釜市立病院の佐々木先生は『地域包括病棟を有しているが、全て埋まっている訳ではない。坂病院が急性期を目指すのであれば、今後も連携して受け入れをしていきたい。』と述べられました。

松田医師より『慢性疾患、患者の紹介についてやその他何かあればご意見をお伺いしたい。』と委員の方々に発言を求めました。

これに対し各委員の方々から以下のような発言がありました。

無量井先生～『管理患者の急性疾患を受け入れてくれる後ろ盾があれば、受け入れは可能です。』

薬剤師会の豊島委員～『開業医に紹介した患者からは、坂は交通の便が良いが他院だと通院が大変だ、等の声を聞きます。』

歯科医師会の高橋先生～『周術期口腔ケアを開始しているがまだ件数も少なく手探り状態。地域の高齢者は増えているので、救急が充実していると安心できる。』等など。

阿南陽二副院長が閉会のあいさつをして、ご出席いただいた委員の皆様へ謝辞を述べ散会となりました。



各委員から活発に発言がありました



## 2015年8月より定期開催

昨今、がん治療は多様化し、がんの種類や患者さんの個別性を鑑みた治療方針を提示することが求められております。当院では、がんの診断・治療（放射線治療は除く）から緩和・在宅診療に至るまで網羅的に患者さんの受け入れが可能です。そこで、治療方針を総合的に検討する目的で、山形大学腫瘍内科の吉岡孝教授にご指導いただきながら、2015年8月より、cancer treatment conferenceを定期開催することとなりました。吉岡先生は東北大学のご出身で、かつて当院で卒後研修をされた先輩です。

### 他職種と連携した 「がん」よろず相談

疾患頻度の高い消化器癌と乳癌が主な対象ですが、がんの種類・分野の制限は一切ありません。カンファランスには、医師（消化器科、緩和科、在宅診療科、外科）、看護師（外来、病棟問わず）、薬剤師をはじめ、他の医療スタッフも参加しており、有効ながん治療のこののみではなく、緩和治療、リハビリテーション、



症例を報告する阿南副院長

栄養療法、費用や療養環境の調整など幅広い観点で意見交換をしています。いわば、他職種と連携した“がん”よろず相談といったところでしょうか。

### 目標は 「地域にがん難民をつくらない」

現在は当院の症例のみを検討しておりますが、もし困難症例等ございましたら、地域の医療機関の皆さまと合同で、知識と技術を持ち寄って、患者さんに最適な治療を提供できればと考えております。「地域にがん難民をつくらない」そんな大それた目標に向かっていく所存です。どうぞよろしく願いいたします。

# 当院の「がん治療のためのカンファランス」



坂総合病院外科医長

盛口 佳宏



カンファランスの状況

## 9月30日の 開催状況報告

一年目の新人看護師から研修医、30年以上のベテラン医師、薬剤師や事務職など職種やキャリアも様々な職員約30名が参加し開催されました。

まず、阿南副院長から3症例の状況報告と提起がありました。

PET-CTでがんが見つかったAさんについて、『PETって何か分かる？』と座長の盛口医師から質問され困っていた新人看護師。『研修医の先生教えてあげて』と盛口医師。『がん細胞がブドウ糖を取り込む性質を利用して、ブドウ糖に近い成分を注射してPET撮影するとがん細胞に多くブドウ糖が集まるので発見に繋がる検査です。』と答え、基礎的な事から始まり、その後本格的な治療方針や薬剤選択など真剣に意見交換がされました。

また、消化器科の船山科長から現在消化器科入院中のがん患者さんの状況が報告され、さらに、緩和ケア科の北山科長から『狭義の突出痛』に関する薬剤使用の講義もあり充実した内容でした。  
(T・J)

「第37回みやぎ東部健康福祉友の会健康まつり」開催

テーマ **ひろがれ  
あつまれ  
健康づくり!**

坂病院組織課課長 木伏 佳子



オープニングはキッズチアダンス「クラップス」

10月4日（日）、朝はやや肌寒く風も強い中、塩釜ガス体育館を会場に約2000名が参加し「第37回みやぎ東部健康福祉友の会健康まつり」が開催されました。

7時50分に要員全員が集合し、テントを立て、各部署それぞれで準備が進められました。9時受付開始。各地域から送迎車等での来場者を受付や案内係が笑顔で迎えました。

催しは4会場（第1競技場、第2競技場、2階踊り場、外の模擬店）に分かれて行なわれました。

**第1競技場では**

○中央ステージ～9時50分、オープニングは、キッズチアダンス「クラップス」によるかわいいダンス。参加者から大きな拍手が起きました。

開会宣言を兼ねて開会のあいさつを実行委員長の齊藤規夫友の会会長がしました。『名称が変更になっ

て初めての健康まつりですが、健康と福祉を守り改善・充実をめざし多くの人たちと手を携えて進めていきましょう。』と述べました。

来賓の方々の紹介やあいさつ後、多彩なステージ開始。ダンス（塩釜高校ダンス部）、アカペラ（東北大サークル「パリロス」）、民謡（友の会民謡サークル）、星陵アンサンブル（東北大）のやさしい音色のハンドベル、と舞台は続きました。

12時から40分の休憩後、友の会踊りサークルを中心に来場者も加わり「よしこの塩竈」や「友の会音頭」など元気よく踊りました。締めは民族歌舞団「ほうねん座」の勇壮な太鼓などで「絆・響き」や「虎舞い」で大いに盛り上がりました。

**内藤院長あいさつ**

内藤孝院長があいさつし、この間の病院の取り組みとして救急病棟新設状況など中心に紹介し、『新



会場と一体になり元気に踊りました



締めは「ほうねん座」の勇壮な太鼓



力作ぞろいのサークル展示コーナー



絵手紙体験コーナー





フリーマーケット



署名コーナー



「のびのび」のストレッチ体操

こども薬剤師  
体験コーナー



ちびっこ広場の読み聞かせコーナー



大盛況の健康コーナー



癒しのハンドマッサージ

たな建物を有効に活用し、友の会の方々と力を合わせ、地域の皆さんのお役に立てるよう今後もがんばっていきます。』と述べました。

そして最後は、お楽しみ大抽選会で終了しました。

○サークル展示・体験会、フリマ、原爆展・署名など～展示コーナーではすばらしい作品に見入り体験コーナーにも多くの方が参集しました。フリーマーケット(6団体)も売れゆき好調で大盛況。署名コーナーでも会話が弾んでいました。第1競技場入口付近では、初コーナーの「吐物処理実演」「在宅看護相談」も設置され丁寧に対応していました。

## 第2競技場では

○健康コーナー～血圧・体脂肪測定、骨密度測定、貧血検査、痙縮の治療コーナー、認知症相談コーナーを設置。特に、骨密度測定や貧血検査などを

中心に行列ができイスが足りなくなるくらいの大盛況でした。

- のびのび運動～多くの方が集まり、「のびのび」の健康運動指導士の指導で、自宅でもできる無理のないストレッチ体操が紹介され気持ちよさそうに体を動かしました。
- つばさ薬局のこども薬剤師体験～白衣を着て、処方箋のチェックからマールチョコなど使ったの検薬やカルピスを使ったのシロップ調剤などを体験しました。
- ちびっこ広場～ジャグリング、風船アート、皿まわしや、つくって遊ぼう・読み聞かせコーナーに多くの親子連れが参加し、皿まわし等を一緒に楽しんでいました。

## 2階踊り場では

癒しのコーナーとして、ハンドマッサージや子育て相談、ネイルアートが行なわれ、マッサージを受けた方は『気持ちよかった!』と一言。

## 模擬店では

17店舗が出店し、ほぼ完売。あちこちからいい匂いがして、こちらも人人人。気持ちいい青空の下で、おいしい物を食べながら休憩コーナーでゆったり交流している人も多かったようです。

初めて参加された方から、『こんな大規模なまつりだとは思わなかった。来年も楽しみにしています。』という感想がありました。



休憩コーナーでおいしい物を食べながら交流

当日は、地域や学校の様々な行事が重なりあい、来場された方も、要員の皆さんも、掛け持ちしながらの参加に感謝いたします。

## 職員研修会開催

### 『職場でのコミュニケーション力の向上を目指して ~傾聴と承認~』

事務部長 高橋 輝美



お話しする松尾理先生

10月6日(火)18時から坂総合病院教育ステーションにて、近畿大学名誉教授の松尾理(まつお おさむ)先生を迎えて「参加型の多職種実践的コミュニケーション研修会」を開催しました。

松尾先生は、あの「血栓溶解剤t-PA」の開発者としてもご高名な先生です。また、臨床コーチング研究会の理事である先生は人材育成のプロと呼ばれている方でもあります。

#### 話すよりもいかに聴くかが大切

まず先生は、『話すよりもいかに聴くかが大切。』と述べられました。そして、『決して相手の話を勝手に判断せず、辛抱強く聴き相手を受け入れ、承認していくことが最も重要なことである』と。

実際にペアを組んで演習してみると、少し照れくさ

い部分もありましたが、会話をして受容を実感できた瞬間とてもうれしく感じる事が出来ました。

#### 物の言いやすい環境づくりが鍵

また『医療現場では、医療者は個人ではなく、チームメンバーとして機能しなければなりません。専門性の高い職種が互いに理解しあい、コミュニケーションを深め、いかに物の言いやすい環境がつかれるかが鍵となります。そして、それが出来る病院が高い評価を得ることになります。』とご講演頂きました。

さて、坂総合病院は質の高い病院と評価されるでしょうか。



熱心に聴く参加者のみなさん





講義する富山医師（後ろ姿）

## 神経筋エコーのオープンセミナー開催

◇テーマ

**「知って得する！ 神経筋疾患の  
診断に役立つ超音波検査」**

◇講師 **富山 陽介**

坂病院副院長・リハビリ診療部長



## 初めて職場単独で企画主催

生理検査室室長

**阿部 武彦**



### 病院目標の各職場行動計画を基に

10月3日（土）の午後、病院セミナー室にて、病院目標における各職場の行動計画を基に、私たち生理検査室が初めて職場単独で企画主催したセミナーを開催しました。

最初に、講師の富山陽介リハビリ診療部長より、よく見る神経疾患への超音波検査の応用についての講義がありました。

また、手根管症候群と肘部管症候群の神経伝導検査とエコー画像について奥山技師が症例報告し、神経筋エコーのハンズオンは、装置を用いて横山・奥山技師が担当しました。

参加者は近隣の大学病院や公立、個人病院や遠くは山形の病院から医

師や検査技師が13名、当院からの参加者を含め全体で16名でした。

### 参加者と活発なディスカッション

セミナーでは、手の末梢神経支配領域の解剖から手根管・肘部管症候群の症状と病態、神経の基本的なエコー像とその評価方法を解説。

また、症例報告による神経伝導検査とエコー画像の比較検討やハンズオンでの参加者との活発なディスカッションができ、神経筋エコーの有用性について十分認識を深められた企画内容になったと思います。

更に今後の神経筋エコーの適応症例の可能性について意見交換をする中で、近隣の病院から参加した医師からは患者紹介の話をされるなど、貴重な時間になりました。

### 職場内の連帯感が増し自信にも繋がった

職場内では3カ月前から運営担当グループを組織して準備を重ね、チラシ作りから各医療機関への訪問行動、電話での案内を実施してきました。今回の経験で新入職員からベテラン技師まで職場内の連帯感が増し、自分たちの自信にも繋がったと思います。今後の生理検査室の活動に期待して下さい。

\*ハンズオン→参加者が実際に検査（エコー）を体験すること。



神経筋エコーの説明



登録医会開催のお知らせ

2015年度第2回登録医会を開催致します。  
今回は、院内にて増改築の内覧会を兼ねさせて頂くことと致しました。スタッフの皆様のご参加も歓迎しております。ご参加の程お待ちしております。

日時 **11月14日(土)** 14:00~16:00

場所 坂総合病院 2階教育ステーション  
防災室よりお入り下さい

- |                             |                     |
|-----------------------------|---------------------|
| 1 登録医会<br>14時~内覧会<br>医療活動報告 | 2 懇親会<br>15時30分~懇親会 |
|-----------------------------|---------------------|

出張市民講座開催のお知らせ

日時 **12月19日(土)** 10:00~11:30

会場 利府町民交流館(利府町役場) 研修室  
入場無料



講師 坂総合病院外科医長 盛口 佳宏

演題 『がん治療』のおはなし  
その他: 管理栄養士による  
『知って得する食事の話』



利府町役場(ペア・パル利府)  
【所在地】  
宮城県宮城県利府町利府字新並松4番地

地域医療連携センターから

○紹介の状況

2015年	紹介数	逆紹介数
6月	617	721
7月	716	762
8月	738	731
9月	649	713

(坂総合病院、クリニックの合計数です)

○ご紹介の際は、地域医療連携センターまでご連絡下さい。  
※坂総合病院・坂総合クリニックは予約診療を行なっています。

お気軽に地域医療連携センターまでお問い合わせ下さい。  
尚、緊急性の高い症状の場合や入院加療も含めての診療  
ご依頼の場合は、お電話にてその旨をお知らせ下さい。

《開設時間》

- 平日 / 8時30分~17時
  - 土曜日 / 8時30分~12時30分
- ※時間外休日は、救急処置室に繋がります。

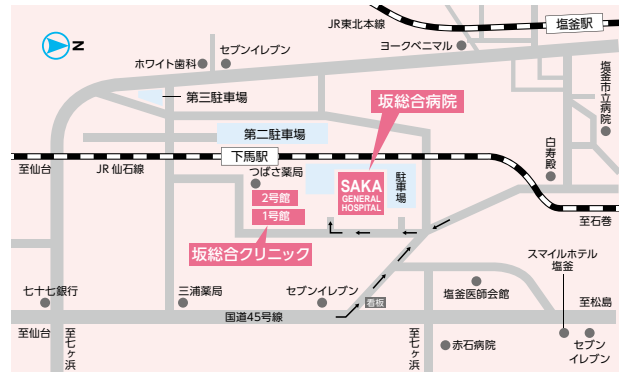
コールセンターから

○診療の予約・変更・お問い合わせは、コールセンターで承ります。

平日(月~金): 8時30分~16時30分  
(小児科のみ8時から開始)

土曜日: 8時30分~11時30分  
(小児科のみ8時から開始)

※紹介状をお持ちの方は必ずその旨をお伝え下さい。  
※上記時間以外で救急診療のお問い合わせは、病院  
代表番号にお電話をお願いします。



- 電車をご利用の場合  
JR仙石線・下馬駅下車(駅前が病院です。)

- お車をご利用の場合  
2014年4月の増築に伴い、以前に比べて第一駐車場が狭くなりました。ご不便をお掛けしますが、第三駐車場に駐車し、送迎バスをご利用いただけるようご協力お願いいたします。

編集後記

坂総合病院NEWS第1号を手にとりいただきありがとうございます。さて、初めから恐縮ですが医療を取り巻く情勢について一言。安倍政権は社会保障を切り捨て大企業や米国言いなりの無駄な公共事業や軍事費などは増やし、国民には大きな負担を強いています。TPP(環太平洋連携協定)も結局米国の要求通りになり、ますます医療も脅かされそうです。さらに、こんな情報もあります。「外資系製薬業界にとって、日本は10兆円の巨大市場提供の国。日本の人口は世界のわずか1.6%にもかかわらず、世界の薬の4割を消費する超優良顧客。」と。憲法25条の精神を活かした日本が誇れる真の「国民皆保険」にしなければと改めて思います。(1)

公益財団法人 宮城厚生協会

坂総合病院  
地域医療連携センター

〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5

電話 022-365-5175 (病院代表)

022-361-4700 (地域医療連携センター)

FAX 022-365-3620